

1、開會の挨拶
2、演説

福岡縣會議員 伊藤 卯四郎

○ 代議士 富吉 榮二

政府は庶政一新、生活安定を叫んでゐるが之には凡ゆる財源を必要とする、一般大衆より搾る事は間違ひである今議會に於ては庶政一新、生活安定らしき臭は少しもなかつた、多少でも財閥に都合の悪い新政策には直ぐ政民が文句をつけて彼岸に押やらうとする、此等の無節操な政民は現状維持派の輩なりと斷言する。

吾々は少数乍ら使命に向つて闘ふが大衆諸君も協力して廣田内閣に庶政一新、國民生活安定の實行を促し併せて政權を以て財閥と結託し演説に日夜を過す政黨に對し清浄なる改造をかへよ

○ 代議士 川村 保太郎

廣田首相が議會に於て答辯された庶政一新、國民生活の安定に對する具体的政策を~~々々~~待して居たのであるが最近却つて大衆を苦しめるが如き増税案を聞くに至つては誠に遺憾である。

昭和六年より見て今日は物價が二割上つて居るに反し賃金は逆に下つてゐる之に増税することは國民生活を壓迫するものである、酒、煙草の値上も同様で賛成出来ない。次に陸軍で主張する保健衛生の問題も結局労働者の賃金を増してやると言ふ所迄行かねば駄目だ單に労働時間の短縮、營養の補給と言ふだけでは充分でない、國民保險法も母子共に保護する事でなければならぬこれも政民財閥の反對で進まないのだと思ふ。